

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ
設置者名	学校法人西鉄学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務専門課程	ホテル・ブライダル科	夜・通信	6単位	6単位	
	ホテル・ブライダル科 ホテル3年グローバルコース	夜・通信	10単位	9単位	
	鉄道科	夜・通信	6単位	6単位	
	エアライン科	夜・通信	6単位	6単位	
	国際ビジネス科	夜・通信	6単位	6単位	
	ITビジネス科	夜・通信	6単位	6単位	
	夜間総合観光科	夜・通信	4単位	4単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校ホームページ URL: https://www.ibc.ac.jp/about/schoolinfo2.html

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由) 困難である学科なし

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ
設置者名	学校法人西鉄学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人ホームページ URL: https://nishitetsugakuen.com/disclosure.html ※事業報告書3ページ目に記載

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
常勤	西日本鉄道株式会社 取締役	令和7年 5月28日～ 令和9年 5月27日	関連業界の経営者の一員として、本法人の経営や専門学校の職業教育に関して、社会情勢に関する深い見識及び幅広い視野による業務の執行及び総理を期待する。
非常勤	西日本鉄道株式会社 経営企画部課長	令和7年 5月28日～ 令和9年 5月27日	関連業界の現役中間管理職として、本法人の経営や専門学校の職業教育に関して、社会情勢に関する深い見識及び幅広い視野による客観的な参考意見や提言を期待する。
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ
設置者名	学校法人西鉄学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>本校では、「シラバス作成ガイドライン」を策定し、当ガイドラインに沿って、すべての授業科目について、授業を担当する講師がそれぞれのシラバスを作成し、学校が冊子にまとめ、各学期開始前に学生に配布し、周知することとしている。</p> <p>当シラバスには、「何を身に付けるか」という学生の視点に立って、到達目標、成績評価方法、授業概要及び詳細な各授業時間の具体的な内容等を記載し、学生の学修の案内と動機づけを行っている。</p> <p>なお、成績評価の基準については、別途「成績評価及び進級・卒業基準に関する規程」を策定し、当該基準を明示している。</p> <p>また、公表については、学生に周知後、本校ホームページに参考として3か年分を公開している。</p>	
授業計画書の公表方法	本校HP URL: https://www.ibc.ac.jp/about/schoolinfo2.html
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>本校では「成績評価及び進級・卒業基準に関する規程」(本校ホームページにて公表)を策定し、当規程に沿って、すべての授業科目について公平・公正な成績評価に努めている。</p> <p>当規程では、まず、すべての授業科目についてその出席率が75%以上でなければ一律に未履修の取り扱いとし、それ以外の科目についてのみ優劣の評価区分を設定している。(優劣の評価の最下位ランクについては、履修を認定しないものとする。)</p> <p>その評価に当たっては、学期ごとに実施される期末試験の結果だけでなく、平常の授業中の態度、求められる提出物、演習等の優劣(それぞれの評価方法の軽重配分はシラバスにて各授業担当教員が明示)を採り入れることとしている。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

本校では「成績評価及び進級・卒業基準に関する規程」(本校ホームページにて公表)の中で成績評価区分に対応したポイントを設定し、そのポイント及び各授業科目に割り当てた単位を基に、すべての学生について、自分の成績が所属学科のどの位置にあるかが明視できるようGPAを算出し、分布状況を作成することとしている。(具体的な算出方法等は、以下※を参照)

なお、GPAは、前期及び後期のそれぞれ授業科目の評価を行うごとに算出し、分布状況の資料を作成するとともに、要請に応じて学生等に説明することとしている。

※具体的なGPA算出方法等(「成績評価及び進級・卒業基準に関する規程」から)

(成績評価指数)

第9条 前条に定める成績評価の一環として、各授業科目の評価をポイントとして付与し、その平均を指数化することによって、学生に対して、当該学生の所属学科における相対的な成績を示すこととする。

2 前項に掲げる指数をGPA(Grade Point Average)といい、次項による算定方法により、各学生のGPA及びその分布を算出する。

3 GPAの対象とする授業科目は、第8条第2項により就業体験に振り替えられた授業科目(評価区分F)を除くすべての授業科目とし、その評価に対応したポイントを次のとおり付与するとともに、次の算定式により、各学生のGPAを決定するものとする。

評価区分	付与ポイント
A	4ポイント
B	3ポイント
C又はR	2ポイント
D又はI	0ポイント

【GPA算定式】(省略)

客観的な指標の
算出方法の公表方法

本校HP URL: <https://www.ibc.ac.jp/about/schoolinfo2.html>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本校では、人材育成の観点からディプロマポリシーを策定し、学校として卒業までに学生にどんな資質・能力を身に付けさせ、社会・企業に送り出すかの方針を策定し、公表している。

このディプロマポリシーは以下のとおりである。

『西鉄国際ビジネスカレッジは、以下に掲げる資質・能力を身に付け、所定の単位を修得したものに卒業を認定し、専門士（昼間学科のみ）を授与する。

1. 規範意識が高く、自律の精神を有し、ホスピタリティマインドを身に付けている。
2. 物事を多面的・多角的に深く考察する力を備え、他者と協調して行動できる。
3. 観光業界の発展に寄与する専門知識・技能を有している。』

また、「成績評価及び進級・卒業基準に関する規程」（本校ホームページにて公表）の中で具体的な卒業認定基準を定め、当基準に照らして、公平・公正に卒業の認定を行っている。（具体的な卒業認定基準は、以下※を参照）

※具体的な卒業認定基準（「成績評価及び進級・卒業基準に関する規程」から）

（卒業認定基準）

第13条 学籍等取扱規程の5に定める卒業の条件は、次の各号のとおりとし、学生がその条件をすべて満たした場合に、本校は卒業を認定するものとする。

- 一 昼間学科は第5条第2項を、夜間学科は第5条第1項第2号に定める授業時数を修了したこと。
- 二 前号が確定した時点で、納入すべき学費等が完納されていること。ただし、そうでない場合は、学生及びその保護者に完納の意思が顕著であり、かつ卒業式の前日を期限として完納可能な日が本校との間で確約されていることをもって卒業を留保することとし、当該日までの完納が確認された時点で正式に卒業を認定することとするが、当該日までの完納がなされない場合は、原則として卒業を不認定とする。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

本校HP URL: <https://www.ibc.ac.jp/about/schoolinfo2.html>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ
設置者名	学校法人西鉄学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://nishitetsugakuen.com/disclosure.html
収支計算書又は損益計算書	https://nishitetsugakuen.com/disclosure.html
財産目録	https://nishitetsugakuen.com/disclosure.html
事業報告書	https://nishitetsugakuen.com/disclosure.html
監事による監査報告（書）	https://nishitetsugakuen.com/disclosure.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

【ホテル・ブライダル科】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務関係		商業実務専門課程	ホテル・ブライダル科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業 時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1700 単位時間	1050	795	120	0	0
			単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
			1965 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80		56	1	8	19	27	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

本校では、「シラバス作成ガイドライン」を策定し、当ガイドラインに沿って、すべての授業科目について、授業を担当する講師がそれぞれのシラバスを作成し、学校が冊子にまとめ、各学期開始前に学生に配布し、周知することとしている。

当シラバスには、「何を身に付けるか」という学生の視点に立って、到達目標、成績評価方法、授業概要及び詳細な各授業時間の具体的な内容等を記載し、学生の学修の案内と動機づけを行っている。

なお、成績評価の基準については、別途「成績評価及び進級・卒業基準に関する規程」を策定し、当該基準を明示している。

また、公表については、本校ホームページにて、過去3か年分を常時公開している。

成績評価の基準・方法

(概要)

本校では「成績評価及び進級・卒業基準に関する規程」(本校ホームページにて公表)の中で成績評価区分に対応したポイントを設定し、そのポイント及び各授業科目に割り当てた単位を基に、すべての学生について、自分の成績が所属学科のどの位置にあるかが明視できるようGPAを算出し、分布状況を作成することとしている。

なお、GPAは、前期及び後期のそれぞれ授業科目の評価を行うごとに算出し、分布状況の資料を作成するとともに、要請に応じて学生等に説明することとしている。

卒業・進級の認定基準

(概要)

本校では、人材育成の観点からディプロマポリシーを策定し、学校として卒業までに学生にどんな資質・能力を身に付けさせ、社会・企業に送り出すかの方針を策定し、公表している。

このディプロマポリシーは以下のとおりである。

『西鉄国際ビジネスカレッジは、以下に掲げる資質・能力を身に付け、所定の単位を修得したものに卒業を認定し、専門士(昼間学科のみ)を授与する。

1. 規範意識が高く、自律の精神を有し、ホスピタリティマインドを身に付けている。
2. 物事を多面的・多角的に深く考察する力を備え、他者と協調して行動できる。
3. 観光業界の発展に寄与する専門知識・技能を有している。』

また、「成績評価及び進級・卒業基準に関する規程」(本校ホームページにて公表)の中で具体的な卒業認定基準を定め、当基準に照らして、公平・公正に卒業の認定を行っている。

学修支援等

(概要)

クラス担任制を敷き、毎週行うホームルームや、定期・不定期の個人面談などを通じ、学生個々の将来の希望や適性の把握に努めている。授業・実習を通じて将来目指す業界で活躍できる人材となるべく教育指導を行っている。また、目指す業界で保持が望ましいとされる資格の取得を勧めている。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
35人 (100.0%)	0人 (0.0%)	32人 (91.4%)	3人 (8.6%)
(主な就職、業界等)			
ホテル・ブライダル業界(ホテルニューオータニ東京、ヒルトン福岡シーホーク、ザ・リッツ・カールトン福岡他)			
(就職指導内容)			
就職室に求人票を掲出し自由に閲覧・応募できるようにしている。授業や年間行事を通じて面接試験での受け答えや筆記試験が一定のレベルで行うことが出来るよう指導している。業界ごとに就職担当を配置し個別の相談にのっている。			
(主な学修成果(資格・検定等))			
英検、ホテル実務技能認定試験、レストランサービス技能検定			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
71人	5人	7.0%
(中途退学の主な理由)		
精神疾患、意欲減退、不適応		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
なるべく早い段階で学生の私的な事情や環境等を把握するため、ロングホームルームや個別の相談に細やかに対応している。また、学生が退学の意向を示した時は、担任及び教務部長が何度も面談を行い、保護者とも面談の機会を作るとともに、学費を担当する総務部とも連携しながら、最大限退学を再考するような手立てを講じている。		

【ホテル・ブライダル科 ホテル3年グローバルコース】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務関係		商業実務専門課程	ホテル・ブライダル科ホテル3年グローバルコース	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2550 単位時間	1320 単位時間	916 単位時間	480 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			2716 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
35		4	0	8	19	27	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

本校では、「シラバス作成ガイドライン」を策定し、当ガイドラインに沿って、すべての授業科目について、授業を担当する講師がそれぞれのシラバスを作成し、学校が冊子にまとめ、各学期開始前に学生に配布し、周知することとしている。

当シラバスには、「何を身に付けるか」という学生の視点に立って、到達目標、成績評価方法、授業概要及び詳細な各授業時間の具体的な内容等を記載し、学生の学修の案内と動機づけを行っている。

なお、成績評価の基準については、別途「成績評価及び進級・卒業基準に関する規程」を策定し、当該基準を明示している。

また、公表については、本校ホームページにて、過去3か年分を常時公開している。

成績評価の基準・方法

(概要)

本校では「成績評価及び進級・卒業基準に関する規程」(本校ホームページにて公表)の中で成績評価区分に対応したポイントを設定し、そのポイント及び各授業科目に割り当てた単位を基に、すべての学生について、自分の成績が所属学科のどの位置にあるかが明視できるようGPAを算出し、分布状況を作成することとしている。

なお、GPAは、前期及び後期のそれぞれ授業科目の評価を行うごとに算出し、分布状況の資料を作成するとともに、要請に応じて学生等に説明することとしている。

卒業・進級の認定基準

(概要)

本校では、人材育成の観点からディプロマポリシーを策定し、学校として卒業までに学生にどんな資質・能力を身に付けさせ、社会・企業に送り出すかの方針を策定し、公表している。

このディプロマポリシーは以下のとおりである。

『西鉄国際ビジネスカレッジは、以下に掲げる資質・能力を身に付け、所定の単位を修得したものに卒業を認定し、専門士(昼間学科のみ)を授与する。

1. 規範意識が高く、自律の精神を有し、ホスピタリティマインドを身に付けている。
2. 物事を多面的・多角的に深く考察する力を備え、他者と協調して行動できる。
3. 観光業界の発展に寄与する専門知識・技能を有している。』

また、「成績評価及び進級・卒業基準に関する規程」(本校ホームページにて公表)の中で具体的な卒業認定基準を定め、当基準に照らして、公平・公正に卒業の認定を行っている。

学修支援等

(概要)

クラス担任制を敷き、毎週行うホームルームや、定期・不定期の個人面談などを通じ、学生個々の将来の希望や適性の把握に努めている。授業・実習を通じて将来目指す業界で活躍できる人材となるべく教育指導を行っている。また、目指す業界で保持が望ましいとされる資格の取得を勧めている。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 就職室に求人票を掲出し自由に閲覧・応募できるようにしている。授業や年間行事を通じて面接試験での受け答えや筆記試験が一定のレベルで行うことが出来るよう指導している。業界ごとに就職担当を配置し個別の相談にのっている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 英検、ホテル実務技能認定試験、レストランサービス技能検定			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) なるべく早い段階で学生の私的な事情や環境等を把握するため、ロングホームルームや個別の相談に細やかに対応している。また、学生が退学の意向を示した時は、担任及び教務部長が何度も面談を行い、保護者とも面談の機会を作るとともに、学費を担当する総務部とも連携しながら、最大限退学を再考するような手立てを講じている。		

【鉄道科】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務関係		商業実務専門課程	鉄道科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業 時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1700 単位時間	1050	810	60	0	0
			単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
			1920 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70		44	1	5	19	24	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

本校では、「シラバス作成ガイドライン」を策定し、当ガイドラインに沿って、すべての授業科目について、授業を担当する講師がそれぞれのシラバスを作成し、学校が冊子にまとめ、各学期開始前に学生に配布し、周知することとしている。

当シラバスには、「何を身に付けるか」という学生の視点に立って、到達目標、成績評価方法、授業概要及び詳細な各授業時間の具体的な内容等を記載し、学生の学修の案内と動機づけを行っている。

なお、成績評価の基準については、別途「成績評価及び進級・卒業基準に関する規程」を策定し、当該基準を明示している。

また、公表については、本校ホームページにて、過去3か年分を常時公開している。

成績評価の基準・方法

(概要)

本校では「成績評価及び進級・卒業基準に関する規程」(本校ホームページにて公表)の中で成績評価区分に対応したポイントを設定し、そのポイント及び各授業科目に割り当てた単位を基に、すべての学生について、自分の成績が所属学科のどの位置にあるかが明視できるようGPAを算出し、分布状況を作成することとしている。

なお、GPAは、前期及び後期のそれぞれ授業科目の評価を行うごとに算出し、分布状況の資料を作成するとともに、要請に応じて学生等に説明することとしている。

卒業・進級の認定基準

(概要)

本校では、人材育成の観点からディプロマポリシーを策定し、学校として卒業までに学生にどんな資質・能力を身に付けさせ、社会・企業に送り出すかの方針を策定し、公表している。

このディプロマポリシーは以下のとおりである。

『西鉄国際ビジネスカレッジは、以下に掲げる資質・能力を身に付け、所定の単位を修得したものに卒業を認定し、専門士(昼間学科のみ)を授与する。

1. 規範意識が高く、自律の精神を有し、ホスピタリティマインドを身に付けている。
2. 物事を多面的・多角的に深く考察する力を備え、他者と協調して行動できる。
3. 観光業界の発展に寄与する専門知識・技能を有している。』

また、「成績評価及び進級・卒業基準に関する規程」(本校ホームページにて公表)の中で具体的な卒業認定基準を定め、当基準に照らして、公平・公正に卒業の認定を行っている。

学修支援等

(概要)

クラス担任制を敷き、毎週行うホームルームや、定期・不定期の個人面談などを通じ、学生個々の将来の希望や適性の把握に努めている。授業・実習を通じて将来目指す業界で活躍できる人材となるべく教育指導を行っている。また、目指す業界で保持が望ましいとされる資格の取得を勧めている。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
17人 (100.0%)	0人 (0.0%)	17人 (100.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等)			
鉄道運輸業界(九州旅客鉄道株、阪急電鉄株、西日本鉄道株他)			
(就職指導内容)			
就職室に求人票を掲出し自由に閲覧・応募できるようにしている。授業や年間行事を通じて面接試験での受け答えや筆記試験が一定のレベルで行うことが出来るよう指導している。業界ごとに就職担当を配置し個別の相談にのっている。			
(主な学修成果(資格・検定等))			
英検、国内旅行業務取扱管理者、ビジネス能力検定ジョブパス、サービス介助士、旅行地理検定			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
41人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
なるべく早い段階で学生の私的な事情や環境等を把握するため、ロングホームルームや個別の相談に細やかに対応している。また、学生が退学の意向を示した時は、担任及び教務部長が何度も面談を行い、保護者とも面談の機会を作るとともに、学費を担当する総務部とも連携しながら、最大限退学を再考するような手立てを講じている。		

【エアライン科】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務関係		商業実務専門課程	エアライン科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業 時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1700 単位時間	1080	720	150	0	0
			単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
			1950 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
110		72	7	4	18	22	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

本校では、「シラバス作成ガイドライン」を策定し、当ガイドラインに沿って、すべての授業科目について、授業を担当する講師がそれぞれのシラバスを作成し、学校が冊子にまとめ、各学期開始前に学生に配布し、周知することとしている。

当シラバスには、「何を身に付けるか」という学生の視点に立って、到達目標、成績評価方法、授業概要及び詳細な各授業時間の具体的な内容等を記載し、学生の学修の案内と動機づけを行っている。

なお、成績評価の基準については、別途「成績評価及び進級・卒業基準に関する規程」を策定し、当該基準を明示している。

また、公表については、本校ホームページにて、過去3か年分を常時公開している。

成績評価の基準・方法

(概要)

本校では「成績評価及び進級・卒業基準に関する規程」(本校ホームページにて公表)の中で成績評価区分に対応したポイントを設定し、そのポイント及び各授業科目に割り当てた単位を基に、すべての学生について、自分の成績が所属学科のどの位置にあるかが明視できるようGPAを算出し、分布状況を作成することとしている。

なお、GPAは、前期及び後期のそれぞれ授業科目の評価を行うごとに算出し、分布状況の資料を作成するとともに、要請に応じて学生等に説明することとしている。

卒業・進級の認定基準

(概要)

本校では、人材育成の観点からディプロマポリシーを策定し、学校として卒業までに学生にどんな資質・能力を身に付けさせ、社会・企業に送り出すかの方針を策定し、公表している。

このディプロマポリシーは以下のとおりである。

『西鉄国際ビジネスカレッジは、以下に掲げる資質・能力を身に付け、所定の単位を修得したものに卒業を認定し、専門士(昼間学科のみ)を授与する。

1. 規範意識が高く、自律の精神を有し、ホスピタリティマインドを身に付けている。
2. 物事を多面的・多角的に深く考察する力を備え、他者と協調して行動できる。
3. 観光業界の発展に寄与する専門知識・技能を有している。』

また、「成績評価及び進級・卒業基準に関する規程」(本校ホームページにて公表)の中で具体的な卒業認定基準を定め、当基準に照らして、公平・公正に卒業の認定を行っている。

学修支援等

(概要)

クラス担任制を敷き、毎週行うホームルームや、定期・不定期の個人面談などを通じ、学生個々の将来の希望や適性の把握に努めている。授業・実習を通じて将来目指す業界で活躍できる人材となるべく教育指導を行っている。また、目指す業界で保持が望ましいとされる資格の取得を勧めている。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
47人 (100.0%)	1人 (2.1%)	43人 (91.5%)	3人 (6.4%)
(主な就職、業界等)			
航空業界(ANA福岡空港(株)、(株)JALスカイ九州、スカイマーク(株)他)			
(就職指導内容)			
就職室に求人票を掲出し自由に閲覧・応募できるようにしている。授業や年間行事を通じて面接試験での受け答えや筆記試験が一定のレベルで行うことが出来るよう指導している。業界ごとに就職担当を配置し個別の相談にのっている。			
(主な学修成果(資格・検定等))			
英検、アマデウスシステム検定、TOEIC、ビジネス能力検定ジョブパス、危険物取扱者			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
88人	5人	5.7%
(中途退学の主な理由)		
精神疾患、意欲減退、不適応		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
なるべく早い段階で学生の私的な事情や環境等を把握するため、ロングホームルームや個別の相談に細やかに対応している。また、学生が退学の意向を示した時は、担任及び教務部長が何度も面談を行い、保護者とも面談の機会を作るとともに、学費を担当する総務部とも連携しながら、最大限退学を再考するような手立てを講じている。		

【国際ビジネス科】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務関係		商業実務専門課程	国際ビジネス科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業 時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1700 単位時間	1260	660	30	0	0
			単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
			1950 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60		16	0	4	13	17	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

本校では、「シラバス作成ガイドライン」を策定し、当ガイドラインに沿って、すべての授業科目について、授業を担当する講師がそれぞれのシラバスを作成し、学校が冊子にまとめ、各学期開始前に学生に配布し、周知することとしている。

当シラバスには、「何を身に付けるか」という学生の視点に立って、到達目標、成績評価方法、授業概要及び詳細な各授業時間の具体的な内容等を記載し、学生の学修の案内と動機づけを行っている。

なお、成績評価の基準については、別途「成績評価及び進級・卒業基準に関する規程」を策定し、当該基準を明示している。

また、公表については、本校ホームページにて、過去3か年分を常時公開している。

成績評価の基準・方法

(概要)

本校では「成績評価及び進級・卒業基準に関する規程」(本校ホームページにて公表)の中で成績評価区分に対応したポイントを設定し、そのポイント及び各授業科目に割り当てた単位を基に、すべての学生について、自分の成績が所属学科のどの位置にあるかが明視できるようGPAを算出し、分布状況を作成することとしている。

なお、GPAは、前期及び後期のそれぞれ授業科目の評価を行うごとに算出し、分布状況の資料を作成するとともに、要請に応じて学生等に説明することとしている。

卒業・進級の認定基準

(概要)

本校では、人材育成の観点からディプロマポリシーを策定し、学校として卒業までに学生にどんな資質・能力を身に付けさせ、社会・企業に送り出すかの方針を策定し、公表している。

このディプロマポリシーは以下のとおりである。

『西鉄国際ビジネスカレッジは、以下に掲げる資質・能力を身に付け、所定の単位を修得したものに卒業を認定し、専門士(昼間学科のみ)を授与する。

1. 規範意識が高く、自律の精神を有し、ホスピタリティマインドを身に付けている。
2. 物事を多面的・多角的に深く考察する力を備え、他者と協調して行動できる。
3. 観光業界の発展に寄与する専門知識・技能を有している。』

また、「成績評価及び進級・卒業基準に関する規程」(本校ホームページにて公表)の中で具体的な卒業認定基準を定め、当基準に照らして、公平・公正に卒業の認定を行っている。

学修支援等

(概要)

クラス担任制を敷き、毎週行うホームルームや、定期・不定期の個人面談などを通じ、学生個々の将来の希望や適性の把握に努めている。授業・実習を通じて将来目指す業界で活躍できる人材となるべく教育指導を行っている。また、目指す業界で保持が望ましいとされる資格の取得を勧めている。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
21人 (100.0%)	0人 (0.0%)	11人 (52.4%)	10人 (47.6%)
(主な就職、業界等)			
東武トップツアーズ(株)、パークハイアット東京、KCJGROUP(株)他			
(就職指導内容)			
就職室に求人票を掲出し自由に閲覧・応募できるようにしている。授業や年間行事を通じて面接試験での受け答えや筆記試験が一定のレベルで行うことが出来るよう指導している。業界ごとに就職担当を配置し個別の相談にのっている。			
(主な学修成果(資格・検定等))			
TOEIC、英検、TOPIK、MOS、ビジネス能力検定ジョブパス			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39人	4人	10.3%
(中途退学の主な理由)		
経済的困窮、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
なるべく早い段階で学生の私的な事情や環境等を把握するため、ロングホームルームや個別の相談に細やかに対応している。また、学生が退学の意向を示した時は、担任及び教務部長が何度も面談を行い、保護者とも面談の機会を作るとともに、学費を担当する総務部とも連携しながら、最大限退学を再考するような手立てを講じている。		

【ITビジネス科】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務関係		商業実務専門課程	ITビジネス科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業 時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1700 単位時間	480	1410	30	0	0
			単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
			1920 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60		7	0	3	6	9	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) <p>本校では、「シラバス作成ガイドライン」を策定し、当ガイドラインに沿って、すべての授業科目について、授業を担当する講師がそれぞれのシラバスを作成し、学校が冊子にまとめ、各学期開始前に学生に配布し、周知することとしている。</p> <p>当シラバスには、「何を身に付けるか」という学生の視点に立って、到達目標、成績評価方法、授業概要及び詳細な各授業時間の具体的な内容等を記載し、学生の学修の案内と動機づけを行っている。</p> <p>なお、成績評価の基準については、別途「成績評価及び進級・卒業基準に関する規程」を策定し、当該基準を明示している。</p> <p>また、公表については、本校ホームページにて、過去3か年分を常時公開している。</p>
成績評価の基準・方法
(概要) <p>本校では「成績評価及び進級・卒業基準に関する規程」(本校ホームページにて公表)の中で成績評価区分に対応したポイントを設定し、そのポイント及び各授業科目に割り当てた単位を基に、すべての学生について、自分の成績が所属学科のどの位置にあるかが明視できるようGPAを算出し、分布状況を作成することとしている。</p> <p>なお、GPAは、前期及び後期のそれぞれ授業科目の評価を行うごとに算出し、分布状況の資料を作成するとともに、要請に応じて学生等に説明することとしている。</p>
卒業・進級の認定基準
(概要) <p>本校では、人材育成の観点からディプロマポリシーを策定し、学校として卒業までに学生にどんな資質・能力を身に付けさせ、社会・企業に送り出すかの方針を策定し、公表している。</p> <p>このディプロマポリシーは以下のとおりである。</p> <p>『西鉄国際ビジネスカレッジは、以下に掲げる資質・能力を身に付け、所定の単位を修得したものに卒業を認定し、専門士(昼間学科のみ)を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 規範意識が高く、自律の精神を有し、ホスピタリティマインドを身に付けている。 2. 物事を多面的・多角的に深く考察する力を備え、他者と協調して行動できる。 3. 観光業界の発展に寄与する専門知識・技能を有している。』 <p>また、「成績評価及び進級・卒業基準に関する規程」(本校ホームページにて公表)の中で具体的な卒業認定基準を定め、当基準に照らして、公平・公正に卒業の認定を行っている。</p>
学修支援等
(概要) <p>クラス担任制を敷き、毎週行うホームルームや、定期・不定期の個人面談などを通じ、学生個々の将来の希望や適性の把握に努めている。授業・実習を通じて将来目指す業界で活躍できる人材となるべく教育指導を行っている。また、目指す業界で保持が望ましいとされる資格の取得を勧めている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 就職室に求人票を掲出し自由に閲覧・応募できるようにしている。授業や年間行事を通じて面接試験での受け答えや筆記試験が一定のレベルで行うことが出来るよう指導している。業界ごとに就職担当を配置し個別の相談にのっている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) ITパスポート、MOS、基本情報技術者試験、ビジネス能力検定ジョブパス			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) なるべく早い段階で学生の私的な事情や環境等を把握するため、ロングホームルームや個別の相談に細やかに対応している。また、学生が退学の意向を示した時は、担任及び教務部長が何度も面談を行い、保護者とも面談の機会を作るとともに、学費を担当する総務部とも連携しながら、最大限退学を再考するような手立てを講じている。		

【夜間総合観光科】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務関係		商業実務専門課程	夜間総合観光科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業 時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	夜間	900 単位時間	945	210	0	0	0
			単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
			1155 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20		10	0	3	12	15	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

本校では、「シラバス作成ガイドライン」を策定し、当ガイドラインに沿って、すべての授業科目について、授業を担当する講師がそれぞれのシラバスを作成し、学校が冊子にまとめ、各学期開始前に学生に配布し、周知することとしている。

当シラバスには、「何を身に付けるか」という学生の視点に立って、到達目標、成績評価方法、授業概要及び詳細な各授業時間の具体的な内容等を記載し、学生の学修の案内と動機づけを行っている。

なお、成績評価の基準については、別途「成績評価及び進級・卒業基準に関する規程」を策定し、当該基準を明示している。

また、公表については、本校ホームページにて、過去3か年分を常時公開している。

成績評価の基準・方法

(概要)

本校では「成績評価及び進級・卒業基準に関する規程」(本校ホームページにて公表)の中で成績評価区分に対応したポイントを設定し、そのポイント及び各授業科目に割り当てた単位を基に、すべての学生について、自分の成績が所属学科のどの位置にあるかが明視できるようGPAを算出し、分布状況を作成することとしている。

なお、GPAは、前期及び後期のそれぞれ授業科目の評価を行うごとに算出し、分布状況の資料を作成するとともに、要請に応じて学生等に説明することとしている。

卒業・進級の認定基準

(概要)

本校では、人材育成の観点からディプロマポリシーを策定し、学校として卒業までに学生にどんな資質・能力を身に付けさせ、社会・企業に送り出すかの方針を策定し、公表している。

このディプロマポリシーは以下のとおりである。

『西鉄国際ビジネスカレッジは、以下に掲げる資質・能力を身に付け、所定の単位を修得したものに卒業を認定し、専門士(昼間学科のみ)を授与する。

1. 規範意識が高く、自律の精神を有し、ホスピタリティマインドを身に付けている。
2. 物事を多面的・多角的に深く考察する力を備え、他者と協調して行動できる。
3. 観光業界の発展に寄与する専門知識・技能を有している。』

また、「成績評価及び進級・卒業基準に関する規程」(本校ホームページにて公表)の中で具体的な卒業認定基準を定め、当基準に照らして、公平・公正に卒業の認定を行っている。

学修支援等

(概要)

クラス担任制を敷き、毎週行うホームルームや、定期・不定期の個人面談などを通じ、学生個々の将来の希望や適性の把握に努めている。授業・実習を通じて将来目指す業界で活躍できる人材となるべく教育指導を行っている。また、目指す業界で保持が望ましいとされる資格の取得を勧めている。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3人 (100.0%)	0人 (0.0%)	2人 (66.7%)	1人 (33.3%)
(主な就職、業界等)			
観光業界(旅館山河) 他			
(就職指導内容)			
就職室に求人票を掲出し自由に閲覧・応募できるようにしている。授業や年間行事を通じて面接試験での受け答えや筆記試験が一定のレベルで行うことが出来るよう指導している。業界ごとに就職担当を配置し個別の相談にのっている。			
(主な学修成果(資格・検定等))			
英検、ビジネス能力検定ジョブパス、サービス接客検定			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
なるべく早い段階で学生の私的な事情や環境等を把握するため、ロングホームルームや個別の相談に細やかに対応している。また、学生が退学の意向を示した時は、担任及び教務部長が何度も面談を行い、保護者とも面談の機会を作るとともに、学費を担当する総務部とも連携しながら、最大限退学を再考するような手立てを講じている。		

2. 教育活動に係る情報

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
ホテル・ブライダル科	100,000円	720,000円	260,000円	その他欄は施設費
同ホテル3年グローバルコース	100,000円	720,000円	260,000円	その他欄は施設費(令和5年度までの入学生は180,000円)
鉄道科	100,000円	720,000円	260,000円	その他欄は施設費
エアライン科	100,000円	720,000円	260,000円	その他欄は施設費(令和5年度までの入学生は180,000円)
国際ビジネス科	100,000円	720,000円	260,000円	その他欄は施設費(令和5年度までの入学生は180,000円)
ITビジネス科	100,000円	720,000円	260,000円	その他欄は施設費
国際ホテルマネジメント科	100,000円	720,000円	260,000円	その他欄は施設費(令和5年度までの入学生は180,000円)
夜間総合観光科	70,000円	480,000円	100,000円	その他欄は施設費
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.ibc.ac.jp/about/schoolinfo.html		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)		
<p>教育の質の保証・改善、社会に対する説明責任と、学校評価を通じたガバナンス改善に向けた自主的な取組を促進していくため、学校の教育活動その他の学校運営の状況に関わる学校評価を行う。</p> <p>評価委員会は、関係業界・団体等関係者、卒業生、教育に関する有識者等から成る委員(定数10名以内)により構成し、年2回開催している。評価結果の活用については、校長が速やかに改善方策を策定し学校運営等の質の向上に努めている。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
THE BASICS FUKUOKA	2025年4月1日～ 2027年3月31日	関係業界・ 団体等関係者
株式会社西鉄ホテルズ	2025年4月1日～ 2027年3月31日	関係業界・ 団体等関係者
西鉄旅行株式会社	2025年4月1日～ 2027年3月31日	関係業界・ 団体等関係者
株式会社JALスカイ九州	2025年4月1日～ 2027年3月31日	関係業界・ 団体等関係者
株式会社JALグランドサービス九州	2025年4月1日～ 2027年3月31日	関係業界・ 団体等関係者
JR九州サービスサポート株式会社	2025年4月1日～ 2027年3月31日	関係業界・ 団体等関係者
公益財団法人福岡観光コンベンションビューロー	2025年4月1日～ 2027年3月31日	関係業界・ 団体等関係者
公益財団法人産業雇用安定センター 福岡事務所	2025年4月1日～ 2027年3月31日	関係業界・ 団体等関係者
高等学校長 経験者	2025年4月1日～ 2027年3月31日	教育に関し 知見を有する者
日本郵便株式会社 竹下郵便局	2025年4月1日～ 2027年3月31日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.ibc.ac.jp/about/schoolinfo.html		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.ibc.ac.jp/
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H140313000617
学校名 (〇〇大学 等)	専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人西鉄学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		54人（-）人	51人（-）人	58人（-）人
内訳	第Ⅰ区分	29人	30人	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第Ⅱ区分	12人	-	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第Ⅲ区分	11人	10人	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	-	-	
	区分外（多子世帯）	0人	0人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（0）人
合計（年間）				58人（-）人
（備考）				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	—	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が廃止の基準に該当)	0人	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	—	人	人
計	—	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期 後半期
GPA等が下位4分の1	—	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期 後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が警告の基準に該当)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	16人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	16人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。